

第4回経営計画検討委員会の概要

- 1 日 時 平成23年8月17日(水)午後1時30分～3時31分
- 2 場 所 滋賀県大津合同庁舎 7階 7A会議室
- 3 出席委員 8委員全員
- 4 傍聴者 一般3名、社員2団体、報道機関3社
- 5 主な意見等
 - (1) 特別調停の枠組みの中であっても、森林の公益的機能が発揮できるように努めるべきである。
 - (2) 特別調停の内容には、不安定要素が多く、予定どおり進まないことが懸念されるので、委員会として、何を議論していたか議事録として、しっかり残して欲しい。
 - (3) 公社は、地権者へ、責務として、伐採収入が少しでも多く上がる努力をする必要がある。
 - (4) 公社は、県民からの期待もあるので、組織改革や新分野への取り組みを行うべきである。
 - (5) 林業関係者の目標となる公社になってもらいたい。また、県と一緒に林業行政を進めるべきである。
 - (6) 伐採跡地や契約解除地のアフターケアは、大切であり、公社ができない場合は、県がサポートするべきである。